

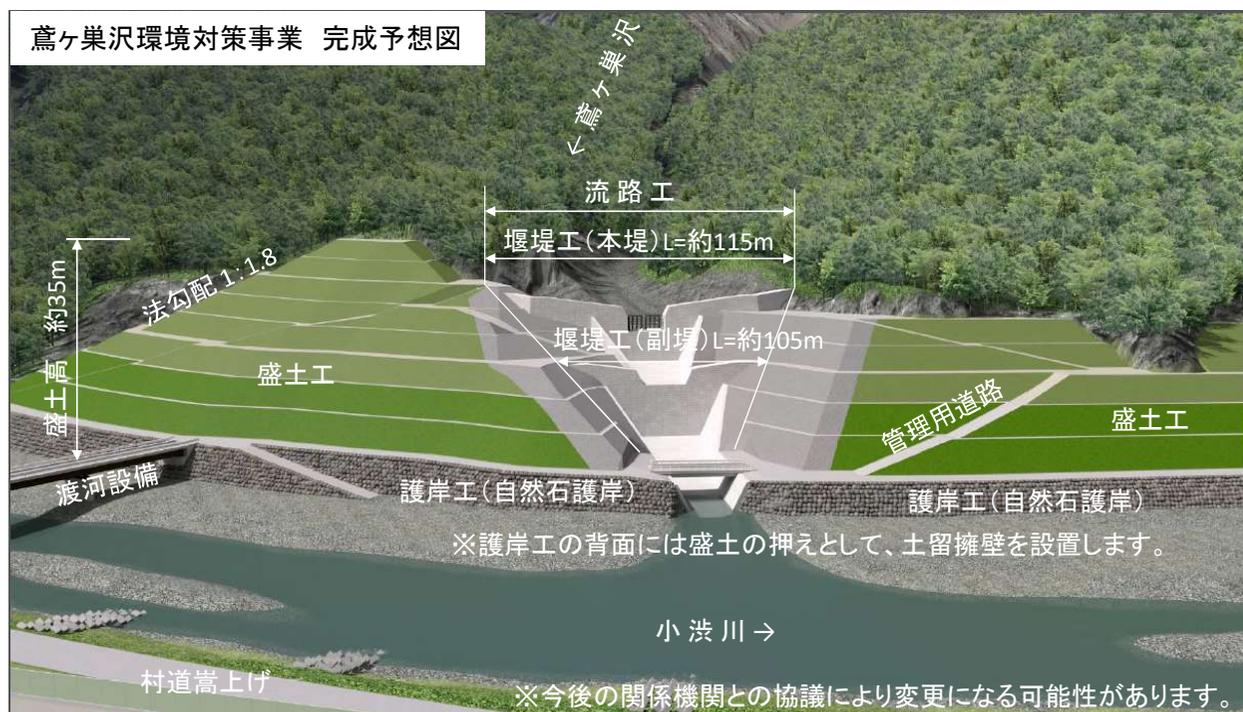
鳶ヶ巣沢環境対策事業 現在の状況

【事業計画】

・大鹿村では、鳶ヶ巣沢においてリニア中央新幹線工事の発生土を活用した環境対策事業を計画しています。

【現在の状況及び今後の予定】

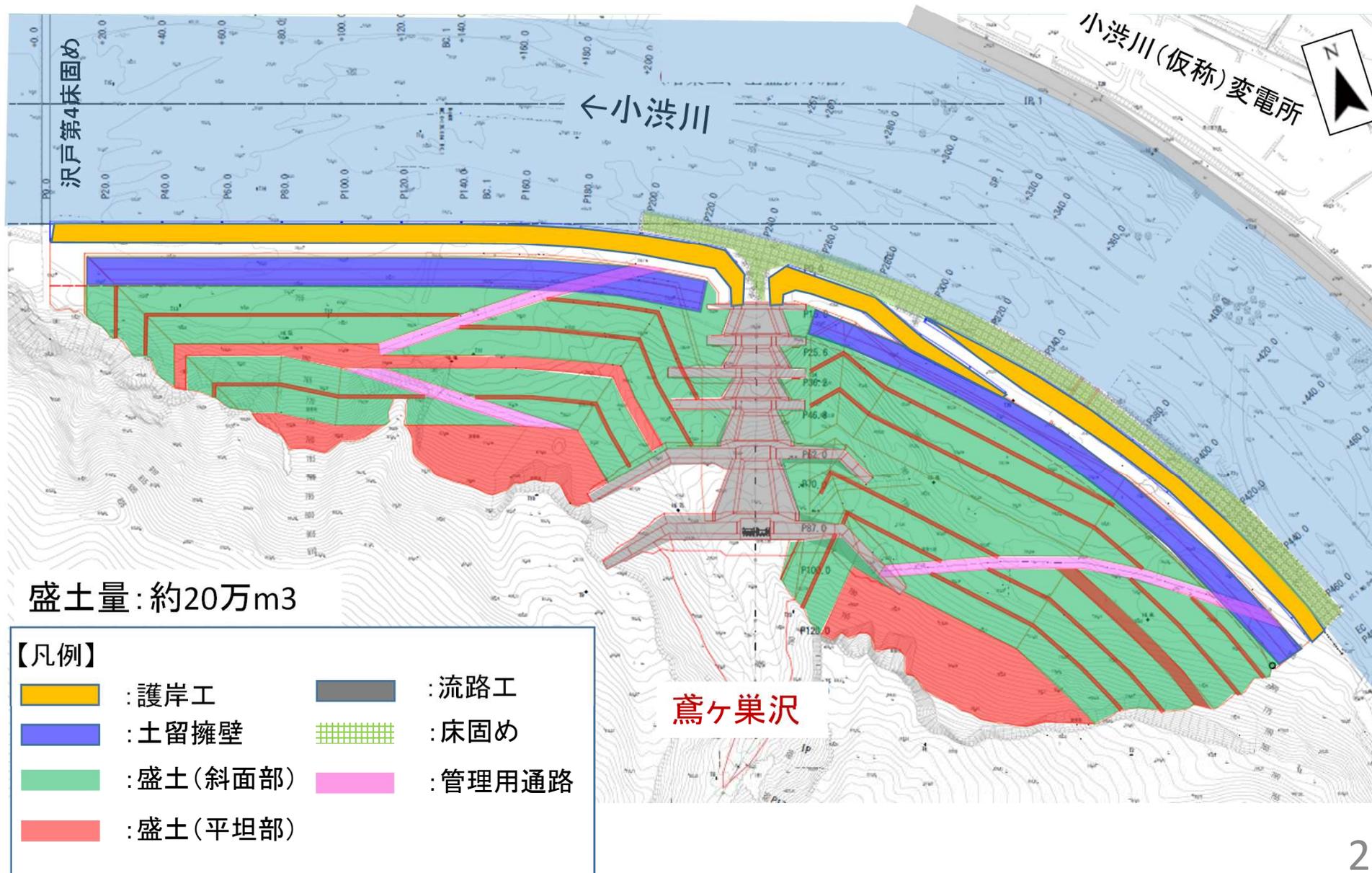
- ・砂防フロンティア整備推進機構による設計照査結果を踏まえ、試験施工や追加の地質調査などの現地調査を行うとともに、関係者との協議を進めてきました。
- ・技術検討委員会の学識経験者から助言をいただきながら構造に関する検討を更に深度化し、今回、基本的な盛土構造を決定しました。
- ・今後決定した盛土構造について、詳細な施工計画の策定を行います。



※渡河設備については橋りょうで計画しておりますが、小渋川左岸側の鳶ヶ巣沢よりも下流の護岸計画に則り、将来の維持管理を考慮し、工事用道路を設けられないかについても、関係者と協議をしながら検討を進めていきたいと考えております。

鳶ヶ巣沢環境対策事業 盛土構造(計画平面図)

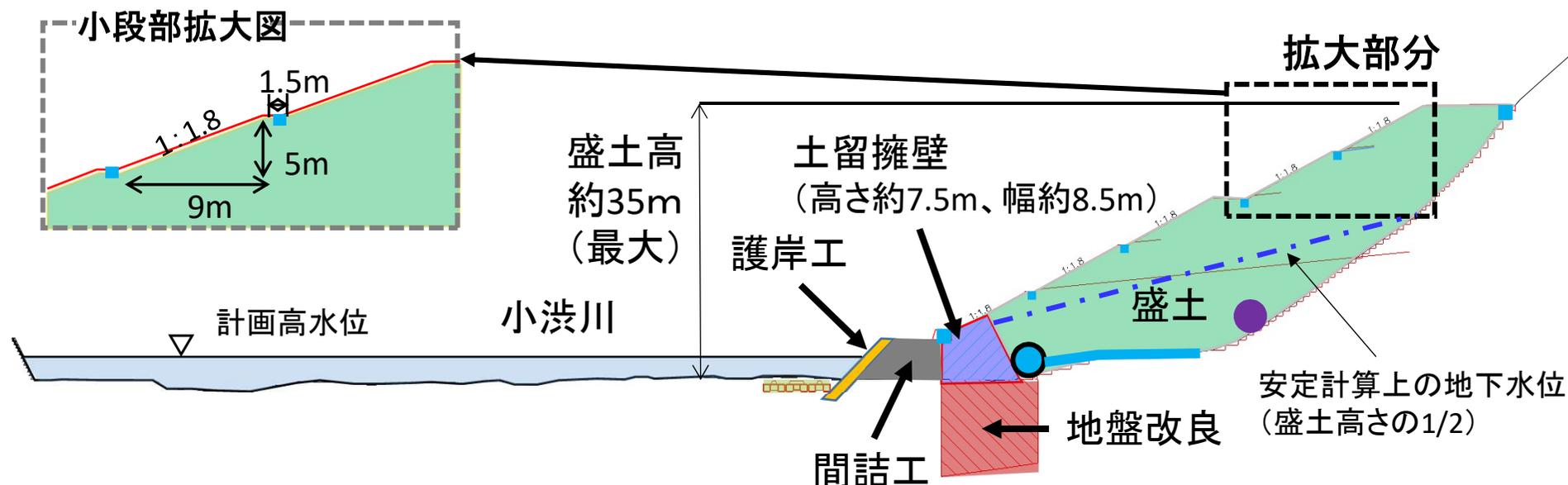
平面図



学識経験者による審議を踏まえたうえで、ガイドラインへの適合を照査し、安全な盛土構造となるよう計画しています。

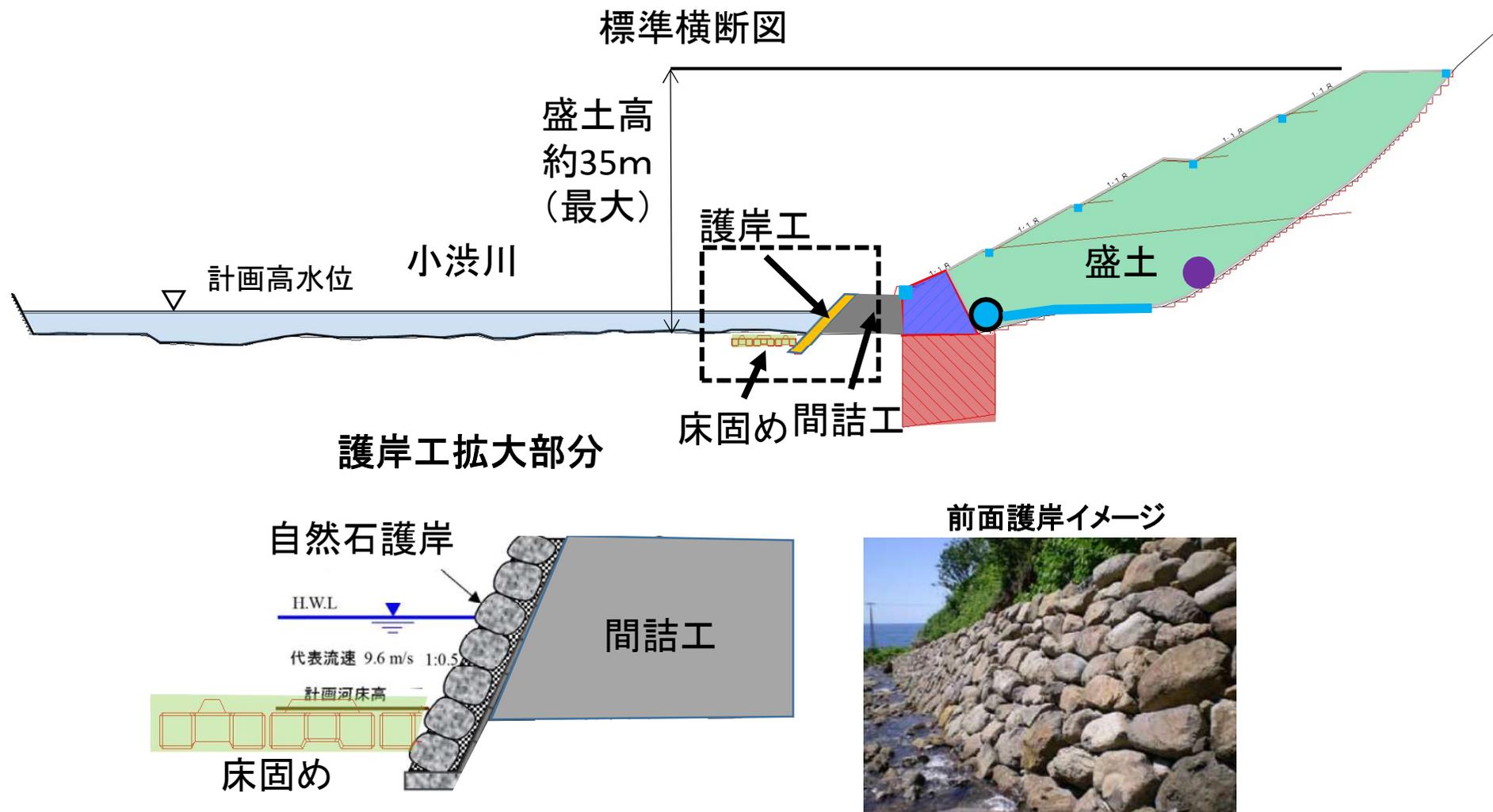
- ①盛土の構造はどのようになっているのか
- ②小渋川が増水したらどうするのか
- ③盛土部分の水の処理はどうなっているのか
- ④地震が起きたらどうなるのか
- ⑤鳶ヶ巣沢上流から土石流がきたらどうするのか
- ⑥将来の安全管理等をどうするのか

①盛土構造はどのようなになっているのか



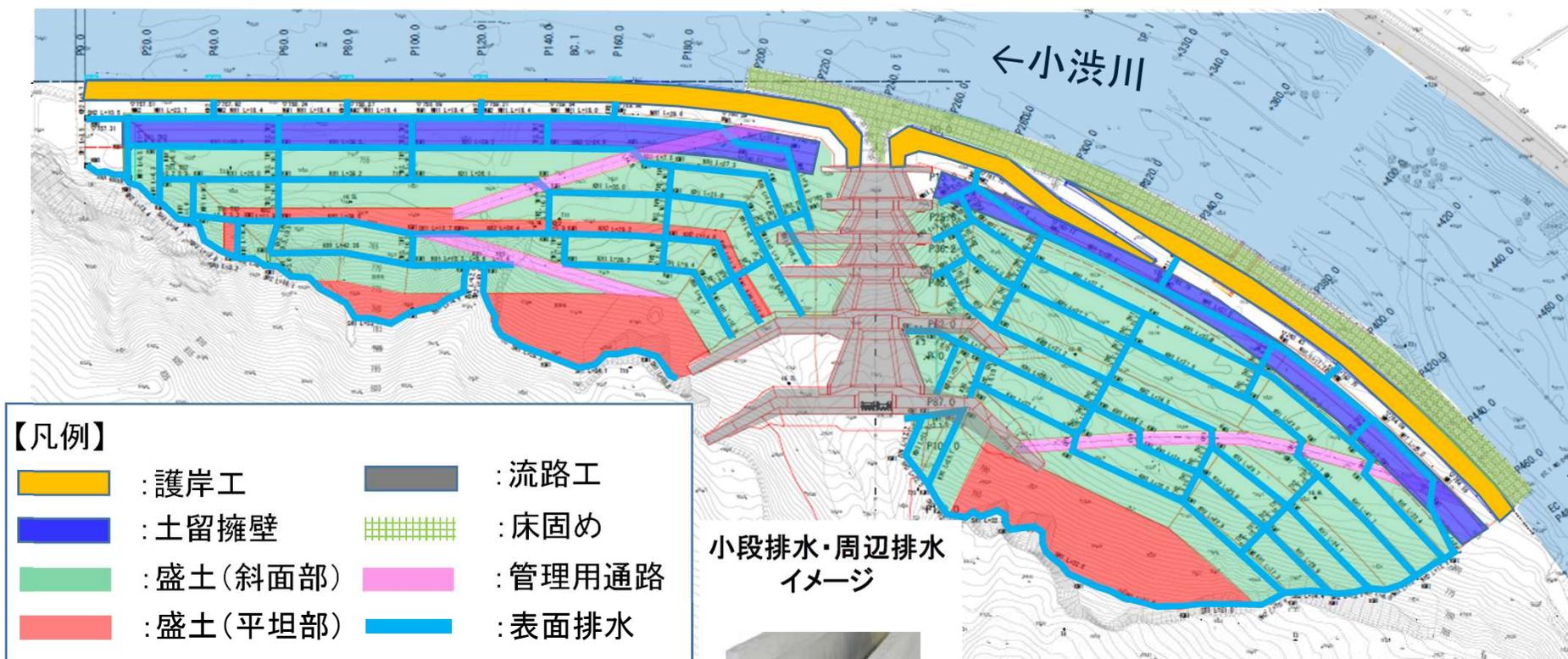
- ・盛土勾配を1:1.8の緩やかな勾配として計画します。
- ・盛土の押えとして、護岸工の背面(盛土下端部)に土留擁壁を設置します。土留擁壁は「発生土」に「セメント」を混合したコンクリートのような材料を使用します。
- ・盛土の安定性については、降雨や地震などを考慮しています。
具体的には、盛土内に地下水が留まらないように十分に排水工を設けますが、地下水位が上昇しても盛土の安定性が確保できるように考えています。
- ・土留擁壁を護岸工と分離した構造にすることにより、洪水等に対しても盛土の安全性を確保しています。なお、土留擁壁は、地盤改良をした地盤のうえに設置することで必要な支持力を確保します。

②小渋川が増水したらどうするのか



- ・小渋川本川に対する護岸については、土留め壁の前面に環境に配慮した自然石による護岸を設置します。
- ・洗堀を防止するために護岸全面に床固めを整備し、河岸が崩れるのを防止します。

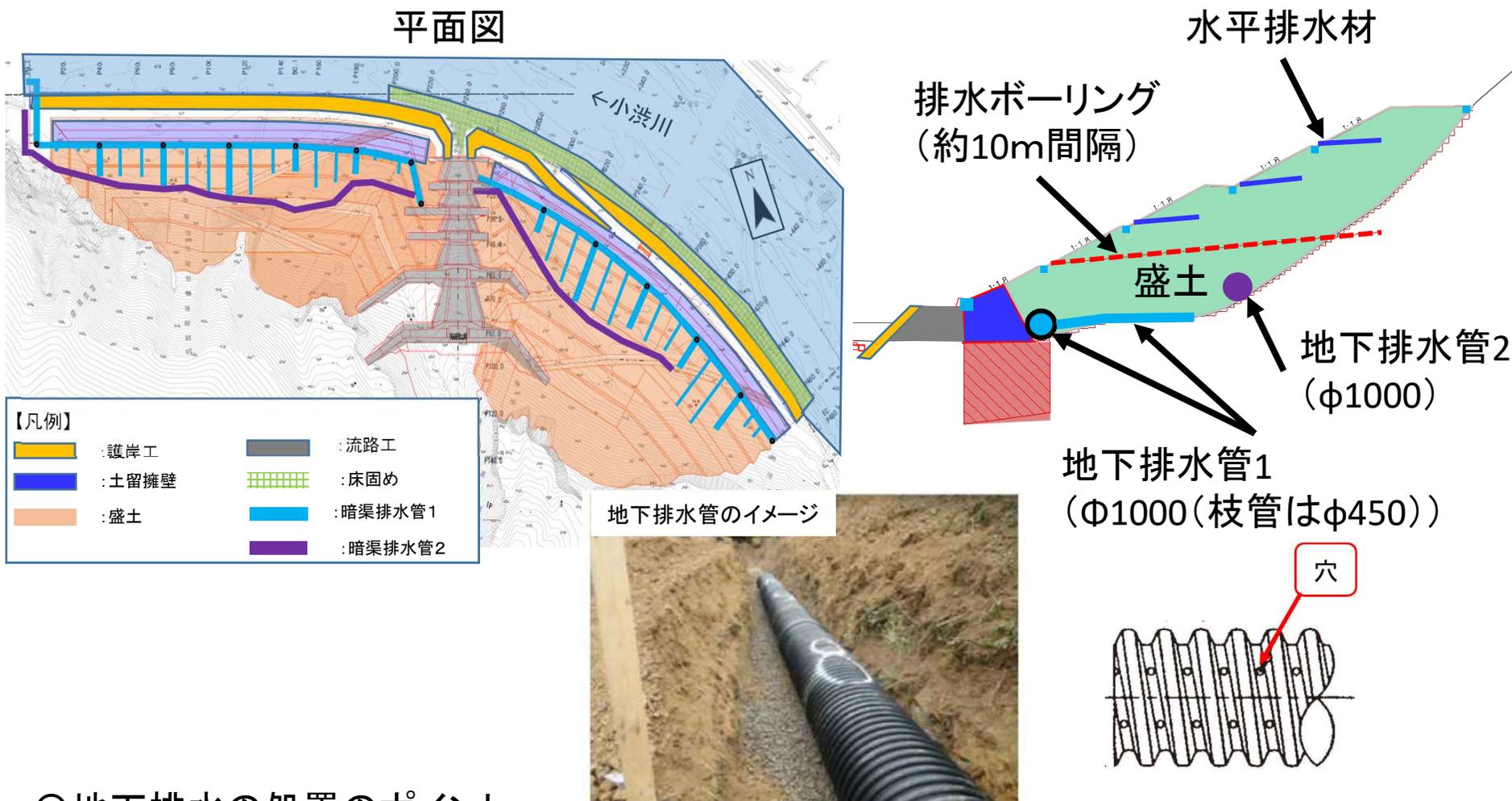
③盛土部分の水の処理はどのようになっているのか(表面排水)



○表面排水の処理のポイント

- ・盛土表面の水を適切に排水するために小段排水、縦排水、法尻側溝、平場排水等を設置いたします。
- ・検討にあたっては、周辺から流れ込む雨水も考慮して計画しています。
なお、雨量は、過去に周辺で観測した最大時雨量を上回る雨量を想定して検討しています。

③盛土部分の水の処理はどのようになっているのか(地下排水)

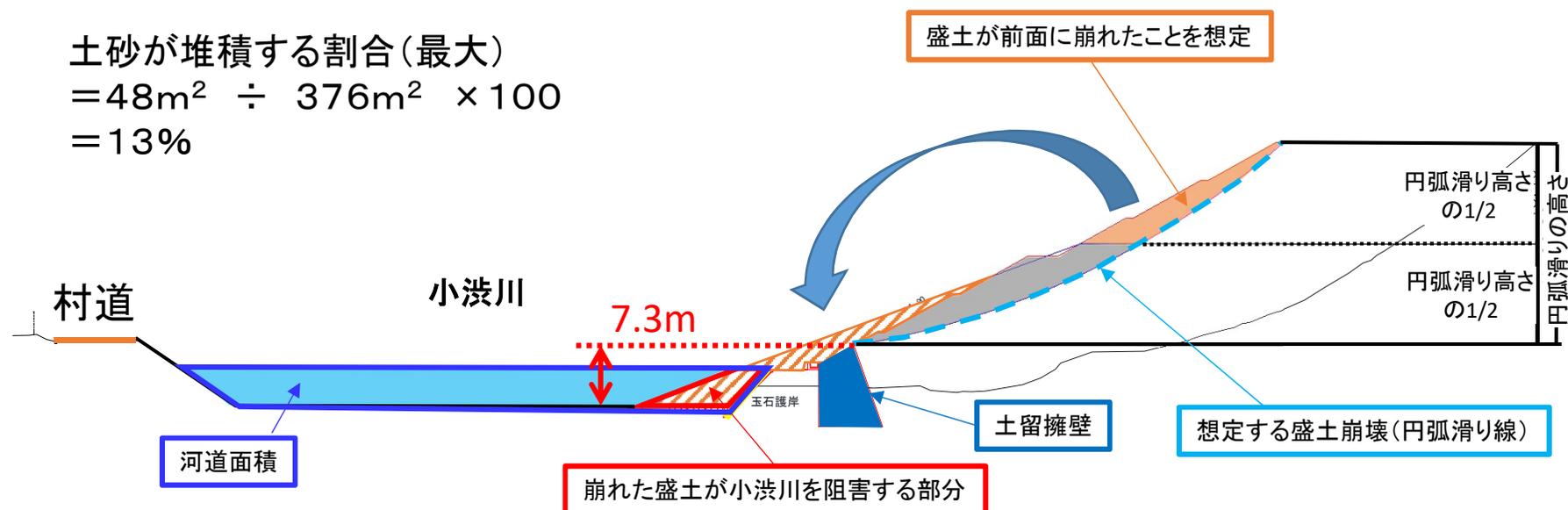


○地下排水の処置のポイント

- ・盛土の中に、地下水が溜らないように、十分な大きさの地下排水管を2重に設けます。
- ・盛土表面から浸透した水を排水するため、水平排水材を設置します。
- ・盛土中段以上に地下水位が上昇しないよう、排水ボーリングを実施します。

④地震が起きたらどうなるのか

震度7相当の地震が起きても崩れない設計を実施していますが、万が一を想定し、盛土が崩れた時に、下流域の小渋川へどのような影響があるのかを検討しました。

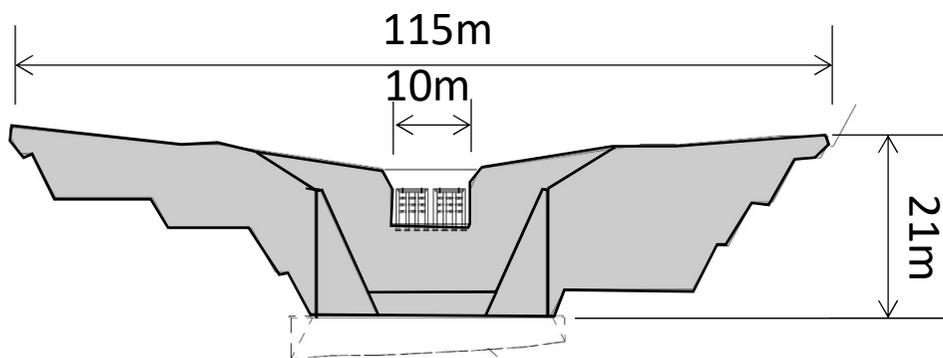


- ・検討の結果、崩れた盛土が小渋川を阻害しても、洪水などで必要な河道の面積は確保され、下流域の小渋川への影響は小さいと考えています。
- ・仮に、想定を上回る河川水位の上昇に対しても、土留擁壁により盛土は押さえられるため、盛土が洪水により直接浸食されることを防ぎます。
- ・河床の変動を定期的に確認し、必要な断面が確保されることを確認します。河床が上昇し、必要な断面が確保できない恐れがある場合は関係各所と協議の上、対応を行います。

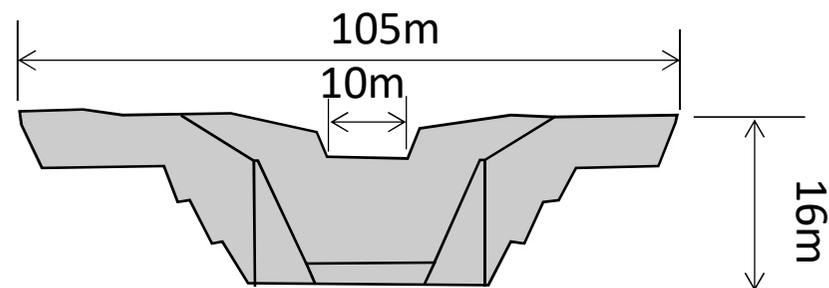
⑤ 鳶ヶ巣沢上流から土石流がきたらどうするのか

流路工断面図

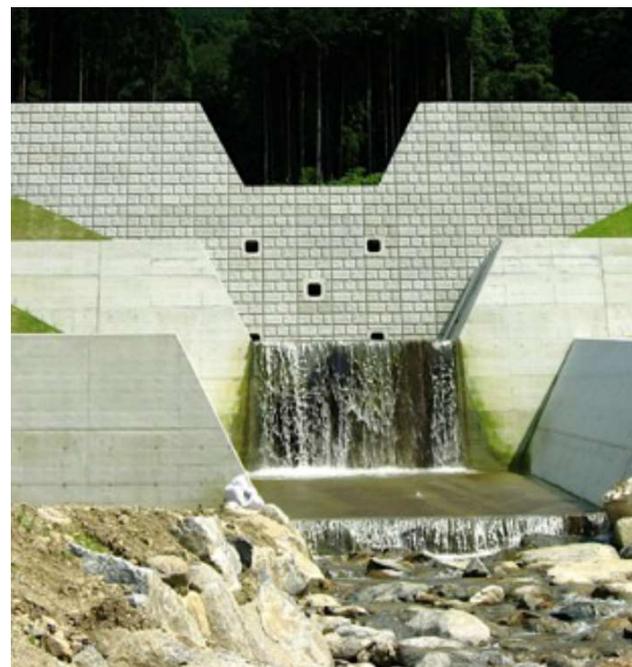
流路工(本堤) 正面図



流路工(副堤) 正面図



流路工イメージ



- ・鳶ヶ巣沢最下部に流路工(本堤、副堤)を設置し、小渋川への土砂の流出を防止します。

⑥将来の安全管理等はどうするのか

- 施工時と施工後のいずれの場合においても、JR東海が盛土や流路工等の安全管理を行います。
- 盛土や流路工等の安全管理として、盛土地表の変位や盛土内の地下水位など盛土の状態を計測機器により監視するなどします。
- 施工後の盛土表面の目視点検、排水側溝の点検清掃等の簡易の日常点検については大鹿村で行います。